

## 到達目標の明確化について

義務教育特別部会の審議経過報告（その１）

（平成１７年５月２３日中央教育審議会総会配付資料）（抜粋）

### ２ 国際的に質の高い教育の実現を目指す

- 義務教育の使命の明確化及び教育内容の改善 -

#### （１）義務教育の使命の明確化

##### ア 義務教育の目標の明確化

義務教育の目的に照らし、今日のグローバル社会、生涯学習社会において、義務教育段階の学校教育で具体的にどのような資質能力を育成することが求められているのかを明らかにすること、すなわち、義務教育の到達目標を明確化することが必要である。

このため、義務教育９年間を見通した目標の明確化を図り、学校教育法に規定することを検討する必要があると考える。今後、教育基本法の改正の動向にも留意しながら、更に検討を進める必要がある。

##### イ 学習指導要領の見直し

義務教育の目標を明確化することに連動して、学習指導要領についても、各教科の到達目標を明確に示すことが必要である。

また、学習の評価についても、目標に照らして子どもたちのより確実な修得に資するようにすることなど、具体的な評価の在り方について今後検討が必要である。